

退職 互助だより

第167号

平成30.7.20

発行

一般財団法人 島根県教職員互助会
〒690-8502 松江市殿町1番地
島根県教育庁福利課内
TEL (0852)22-6067



「群鹿之図」 中原芳煙 作

1909 (明治42) 年 個人蔵、島根県立美術館寄託品

〈8月9日(木)から9月24日(月・振休)まで「島根が生んだ不世出の日本画家 中原芳煙」コレクション展示室5にて展示〉

目次

○新評議員・役員について	2
○医療補助金等の給付金送金スケジュールについて	2
○表紙作品解説	2
○平成29年度事業報告	3
○医療補助金請求に関するお願い	4
○山陰合同銀行の店舗見直しに伴う給付金口座の 変更手続きについて	4
○文化講演会のご案内	4

○地区会だより 退職互助松江地区会	
◇出会いという宝物	5
◇随想「キンランと田和山」	6
◇地区会活動	6
○園芸欄	
◇古典園芸植物「撫子」	7
○事務局だより	8
◇島根県西部地震により被災された方へ	
◇人間ドック補助事業への申込み状況について	
○お悔やみ	8
○あとがき	8

互助会の評議員・役員が決定しました。

旧評議員・理事の一部に退任がありましたので、新たな評議員・理事が選任され、
 新年度の互助会評議員・役員構成メンバーが下記のとおり決定しました。

評 議 員	
推薦団体名	氏 名
新 県 教 育 委 員 会	高橋 泰幸
新 島 根 県 教 職 員 組 合	猪俣 邦顕
島根県高等学校教職員組合	梶田 悦伸
新 島 根 県 教 職 員 協 議 会	知野見美和子
島根教職員組合（日教組島根）	村本 知里
島根県学校事務職員労働組合	白根 周治
新 島 根 県 教 育 庁 職 員 組 合	鹿島 淳
新 島 根 県 小 学 校 長 会	福島 浩
新 島 根 県 中 学 校 長 会	小田川 俊明
新 島 根 県 小 中 学 校 教 頭 会	川瀬 祐悦
新 島 根 県 公 立 高 等 学 校 長 協 会	山本 康治
島根県公立小中学校事務職員研究会	青山 悦子
新 島 根 県 公 立 高 等 学 校 事 務 職 員 協 会	景山 雅子
新 公 立 大 学 法 人 島 根 県 立 大 学	松尾 紳次

島根県国公立幼稚園・こども園長会	井上 晴美
退職互助代表者会	神本 晃
役 員 (理事)	
選出団体名又は充て職名	氏 名
新 理 事 長	県教育委員会教育長 新田 英夫
副理事長	県教育庁教育次長 松本 新吾
新 常 務 理 事	県教育庁福利課長 米原 賢治
理 事	島根県教職員組合 村上 一
理 事	島根県公立高等学校長協会 中村 訓子
理 事	退職互助代表者会 園山 哲也
理 事	教職員互助会事務局長 多胡 文雄
理 事	教職員互助会事務局次長 今渡 公男
役 員 (監事)	
選出団体名又は充て職名	氏 名
島根県高等学校教職員組合	沖野 浩之
島根県教職員組合	木島 めぐみ

医療補助金等の給付金送金スケジュールについて

8月、9月、10月の医療補助金等の給付金送金日は次のとおりです。

請求書受理日 支局・事務局(17:15まで)

平成30年7月23日(月)～平成30年8月20日(月)

平成30年8月21日(火)～平成30年9月20日(木)

平成30年9月21日(金)～平成30年10月19日(金)

給付金送金日 26日

平成30年9月26日(水)

平成30年10月26日(金)

平成30年11月26日(月)

注意

①請求書の提出先が各支局となっている方が、事務局へ提出されても構いませんが、その場合は、事務局から担当の支局へ転送するため、支局への到着日が請求書類受理日となります。

※支局担当者は、勤務日が変則的な場合があります。

②給付金送金日が土・日・祝日の場合は、翌日になります。

表紙掲載 作品解説

島根県邑智郡都賀行村大字潮(現・美郷町潮村)の鉄山を経営する中原家の次男に生まれた芳煙は、明治34年に東京美術学校(現・東京藝術大学)を首席で卒業します。地元の教諭に就きますが、恩師の川端玉章からの催促を受けて、再び上京しました。各種展覧会に出品し、支援者も得て活躍を期待されていましたが、大正3年病になって帰郷し、翌年39歳の若さで亡くなりました。

動物画とくに鹿の絵を得意にします。円山応挙が確立した技法他、正統派の教えを受け継いだ確かな技術を持ち、写実的な観察に基づいて描写しています。7匹の鹿は雌雄や年齢の違いによる毛並

みや表情の描き分けがされています。あくまでも細かな毛の密集、その一方で付け立てによる輪郭線のない大腿部や、乾いた筆跡を大胆に残した尻尾など、筆や絵具の用い方に変化があります。それによって背景の描き込みはほとんどなくとも、描きたい対象のみを切り取って画面を構成し、生態としての鹿の存在感や息遣いが観ている者に伝わってくるのです。

この度、島根県立美術館にご寄託いただきました4点の作品をお披露目するとともに、拝借した資料をあわせて展示します。

田野葉月(島根県立美術館 主任学芸員)

平成
29年度

事業報告

一般財団法人島根県教職員互助会の平成29年度決算は、去る5月28日(月)に開催された第37回理事会において承認され、6月13日(水)に開催された第23回評議員会で報告されました。そのうち、教互退職互助事業会計の概要は次のとおりです。

収益と費用

(単位：千円)

収支	内 訳	平成28年度	平成29年度
収益	拠出金収入	131,540	150,414
	有価証券収益等	55,558	54,801
	責任準備金等取崩益(※1)	217,223	0
	計	404,321	205,215
費用	医療費給付等	159,433	157,266
	厚生事業等	32,265	32,194
	その他事業費	39,384	41,236
	管理費	0	0
	責任準備金等繰入(※1)	157,449	0
	計	388,531	230,696
	当期経常増減額	15,790	△ 25,481
	評価損益等(※2)	△ 127,463	△ 190
	責任準備金等戻入(※1)	0	38,414
	当期経常外増減額	0	31
	他会計繰出額	△ 36,188	△ 29,369
	当期正味財産増減額	△ 147,861	△ 16,595

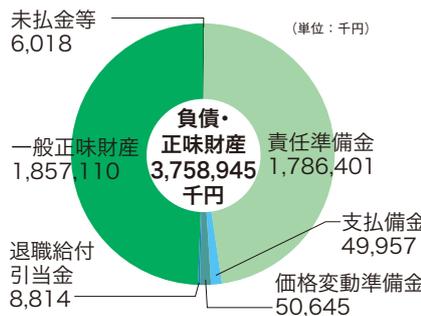
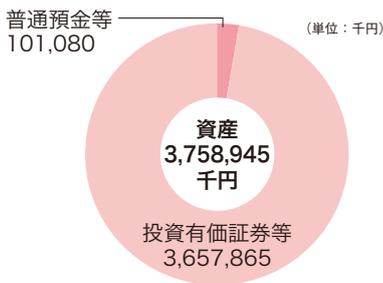
資産と負債（正味財産）

(単位：千円)

資産・負債	内 訳	平成28年度	平成29年度
資 産	普通預金等	49,464	101,080
	投資有価証券等	3,762,763	3,657,865
	資産合計	3,812,227	3,758,945
負 債 正味財産	未払金等	5,663	6,018
	責任準備金(※2)	1,820,659	1,786,401
	支払備金	52,008	49,957
	価格変動準備金	52,751	50,645
	退職給付引当金	7,443	8,814
	一般正味財産	1,873,703	1,857,110
	負債合計	3,812,227	3,758,945

退職互助事業加入者の状況 (平成30年3月末日現在)

75歳以上	4,186人
70歳以上75歳未満	1,115人
60歳以上70歳未満	1,407人
47歳以上60歳未満	127人
計	6,835人



※1 責任準備金に係る損益の計上方法が変更となっています。

※2 投資有価証券の評価益はふくみ益であり、実益を伴うものではありません。

※1・※2 責任準備金繰入額及び責任準備金の増減は、平成25年度以来再度専門会社に依頼し、算出した額に基づき、平成29年度決算額に反映したものです。

退職互助・医療給付事業実施状況

給付区分	決算額(千円)	件数(件)
医療補助金	134,143	38,567
入院見舞金	4,283	201
長寿祝金	14,840	212
弔慰金	1,350	9
拠出金返還金	2,650	5
退会拠出金返還金	0	0
計	157,266	38,994

退職互助・厚生事業実施状況

事業名	実施内容	人数等	決算額(千円)
福利増進事業補助金	地区会活動費の助成	全加入者	20,274
宿泊利用助成	加入者が島根県教育会館に宿泊したときに補助年間4回	605	1,210
退職互助だよりの発行	発行(4・7・10・1月)、加入者の世帯及び各所属に配布	25,100部	1,947
人間ドック補助事業	人間ドック受診に補助	353	4,957
退職者ライフプラン助成事業	加入者がライフプランに関する活動を実施したときに助成	1,287	3,806
	合計		32,194

医療補助金請求に関するお願い

次のことに留意して請求して下さるようお願いいたします。

● 作成単位は「1ヶ月単位」でお願いします。

手順 1 領収書を受診月ごとに分ける。
領収日ではありません。



手順 3 請求書に記入する。

診療年月		平成30年05月		療養費総点数 (健康保険適用分のみ)
入院・外来の別 (該当を○で囲んでください)	医療機関・ 調剤薬局名	診療科目名 (総合病院の場合のみ記入)		
① 入院・(外来)	A病院	内科		
① 入院・(外来)	A病院	外科		
② 入院・(外来)	B薬局			

注意点

B薬局は2回受診していますが、1行だけ記入してください。

手順 2 病院・医療機関ごとに分ける。

① A病院(内科) 5月2日	A病院(外科) 5月15日
② B薬局 5月2日	B薬局 5月15日

手順 4 領収書を添付し、各支局又は事務局へ提出する。
添付する領収書等は、クリップ・ホッチキスで請求書に添付してください。(糊、セロテープは使用しないでください。)

● 提出時期

互助会の医療補助金は1ヶ月単位で計算していますので、受診月の翌月1日以降に提出してください。適正な事務処理を行うためにご協力をお願いします。

受 診		医療補助金請求書提出時期	
A病院(内科) 5月2日	A病院(外科) 5月15日	5月中	6月1日以降
B薬局 5月2日	B薬局 5月15日		

山陰合同銀行の店舗見直しに伴う給付金口座の変更手続きについて

平成30年7月17日(火)に、山陰合同銀行において次の店舗の見直しがなされました。また、10月1日から同行の「代理店」については「出張所」へ変更になります。このため、対象店舗の口座を医療補助金等の給付金等受領口座に指定されている方については、当会において、山陰合同銀行に確認のうえ、口座変更処理を行いますので、ご承知ください。
(該当会員からの「退職互助事業給付金等受領口座変更届出書」の提出は不要です。)

1. 平成30年7月17日(火)からの変更

現・店舗名	新・店舗名
加茂支店(店番105)	加茂出張所(店番105)
瑞穂出張所(店番086)	川本支店(店番036)
五十猛代理店(店番274)	大田支店(店番033)

2. 平成30年10月1日(月)からの変更(「代理店」から「出張所」へ変更) <対象代理店一覧>

店名	佐田	本庄	八束	荒島	高松	竹矢	八雲	口羽
店番	250	252	253	258	279	280	281	038
店名	西益田	日原	浅利	大森	岡見	金城	嘉久志	大篠津
店番	050	051	254	261	269	276	277	075

●●● 平成30年度 ●●●

文化講演会 開催のお知らせ

入場無料

日時 11月3日(土・祝) 午後2時~3時40分

会場 松江市 くにびきメッセ 大展示場

講師 麻木 久仁子氏

テーマ 「人生って終りがあるものなんですね。~今を生きる事とは~」

※入場整理券が必要です。



●申込先.....
〒690-8502 松江市殿町1番地
一般財団法人島根県教職員互助会
FAX.0852-27-2622
e-mail shimakyogo@w3.dion.ne.jp

申込方法 入場整理券は、郵便・FAX・Eメールのうちいずれかの方法で、
①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④連絡先電話番号を
ご記入の上、申し込み願います。入場整理券をお送りします。

出会いという宝物

退職互助松江地区会 会長 園山 哲也

人は、一生のうち、一体何人の人と出会うのだろうか。私は、退職後、縁あって、松江市教育委員会スポーツ課・健康福祉部子育て課等で多くの人に出会った。そして、現在は、退職互助松江地区会の役員・松江福祉会・小学生体操教室・ラジオ体操役員等で、ささやかな活動が続いている。

〔Ⅰ〕保育指導員で学んだこと

退職後、市教委スポーツ課に六年間勤めた後、縁あって、子育て課に配属され、保育指導員として、市内五十か所の保育所・保育園を巡回することになった。私自身、三十八年間、高校に籍を置き、若い時は、通信教育・国体行政業務など、又、経験を重ねてからは、県高体連体操専門部委員長や県高体連副理事長など、貴重な体験をさせてもらった。

高校に籍を置く者にとって、〇歳から六歳という乳幼児期の子どもとの接触は、六十代半ばにして初めての体験であった。

1. 子どもの感受性期

「およそ三歳から八歳までを、感受性期と呼び、感覚器官が最も発達する

時期であるという。この時期に、多様な運動体験を持つことが、人間の成長にとって欠かせないことである。つまり、遊びを通して、いわゆる体で覚えることが大切なのだ。」これは、小西行郎氏「赤ちゃん脳科学」で学んだことであり、ガラヒュー博士（アメリカ）の研究によるところが大きい。

さて、今の子どもたちは、どうであろうか。テレビを通り越して、今や、スマホ万能時代。「ゲーム脳」という言葉も出来て、その対応が追いつかず、大きな社会問題となっている。今の子どもたちに必要なもの、それは、自然体験であり、神経感覚を高める運動遊びであるといえる。（泥んこ遊び・鬼ごっこなど）運動の二極化が進んでいる今こそ、大人が、子どもの遊び環境を作っていく責任があると思う。

2. 体幹教育

「子どもが、よく転んで怪我をする。姿勢が崩れる。人の話が聞けない」等よく耳にする。これは、運動遊びが足りないため、「体幹」が正常に育っていないためという。体幹とは、いわゆる「腸腰筋」（インナーマッスル）のことを言い、腰を中心に、上体と下体を安定させる筋肉。小さい頃からの運動遊び

によって体幹が育ち、正しい姿勢が形成されるという。このことは、松江市教委の「松江市保幼小接続カリキュラム」の中でも、保幼小中連携の必要性が強調されている。

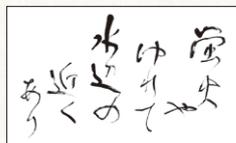
〔Ⅱ〕趣味その一 俳句

あと数年で退職という時期に、突然俳句会の入会に誘われた。当時、県高体連の事務局で多忙だからと、断っていたが、会に出なくてよいから、投句だけでも、と勧められ、第一回から本年で二十二年となり、六、七名の仲間と月一回の俳句会を楽しんでいる。

鬼灯・心太・虎落笛・薬・衣被等、読めない字が沢山あったが、俳句を通して、知りたいという欲求が、自然に生まれてきたと思う。今は、新聞への投句をはじめ、出雲・益田・隠岐の俳



自分史「小さな旅日記」より



関本大喜先生の書
関本大喜先生による書
割り箸（私の句）

句大会へ、投句などして楽しんでいる。年一回発行の俳句誌「春潮」は、仲間の仕上げの場でもある。句集の中のカットを私が担当し、今日に至っているのは、不思議な現象でもある。カットの一部を、無審査の「アンデパンダン展」にも出品し、鉛筆画や水彩画を気の向くまま、楽しんでいる。紙一枚で、無から有が生じるのが楽しい。

〔Ⅲ〕趣味その二 囲碁

そもそも囲碁との縁は、子どもの頃、三人の兄がいずれも有段者で、勝負しているのを弟と眺めるだけで、経験はほとんどない。退職後は、囲碁クラブに所属し、三年前から、全国大会の予選会にも出場している。一昨年、たまたま、県代表に続き、中国ブロックでCクラス優勝（初段クラス）となり、全国大会へ出場した。これは、「全国退職教職員生きがい支援協会」主催の大会。二日間、日本棋院で楽しむことができた。参加賞は、山下敬吾プロ棋士の「無碍（むげ）」と書かれた扇子であった。言葉の意味は、「盤上は遮るもののない無限の広場。大きな気持ちでのびのび勝負しろ」と解釈し、上達はしないものの、のびのびと、囲碁を楽しんでいる。ネットを通して、全国の碁友（小一〜九五歳）との勝負は、幅広い層との対決があり楽しみである。

次の日曜日にも、体操教室の子どもたちが体育館で待っている。私の小さな出会いの喜びは、しばらく続きそうである。

随想

キンランと田和山

退職互助松江地区会 石井 美巳

田和山にキンランが見つかったのは森の整備を始めて四・五年経つてからであった。密集していた孟宗竹や雑木を切り倒し、森に光が差し込むようになり生えてきた。おそらく里山として手入れがされていた頃は生えていたのが、森が放置され荒廃したため見られなくなったと想像している。

折角貴重な花が咲くようになり、公開には異論もあつたが、多くの市民に鑑賞してもらおうと、キンランを楽しむ会と称して一般の人に案内することにした。今年で八年目となるが、これまで一度も盗掘されることなく、今では森全体に広がり二百本以上が確認できる。この森にはキンランの他にもいろんな花が咲き、楽しませてくれる。花の観賞に伴わせて、来訪者にこの森で採れた野草のてんぷらを作って食べてもらうことにした。美味しい食材だけでなく、クズやイタドリ、コウゾリナ、お茶の葉など変わった食材も提供し、喜ばれている。

話は前後するが、この荒れた森を整備しようと「里山を育てる会」を立ち上げたのは平成一四年である。当時乃木公民館長であった故川村淳氏の呼びかけで五名程が集まって話し合い、植物専門の下瀬敏先輩を会長に松江市が所有するこの森（正式名称は自然学習の森）の名に相應しい里山になるようにと活動を始めた。一七年目の現在会員は四四名、毎週



てんぷらを食べる参加者



キンラン

一回集まって間伐、除草、植樹や遊歩道の整備などを行っている。また、活動当初から地元乃木小の子どもたちが取り組んできた樹木や草花や昆虫の学習、キンラン調査など行うのを支援してきた。整備を始めた頃の田和山は田圃に囲まれ涼しい風を受けていたが、今では建物や駐車場で埋め尽くされ環境が大きく変わってきた。キンランをはじめ多くの植物等への影響が心配される。今後の取り組みの課題である。

地区会活動

退職互助松江地区会

常任幹事

野津

多智夫

当地区会の会員数は一七二六名（平成三〇年四月現在）で年々減少している。これは会員の高齢化と新入会員の減少が主な理由です。

会員一人一人が、健康でいきいき暮らせるよう、当会が抱える諸課題に対応しながら諸事業に取り組んでいる。

本会は正副会長、監事、常任幹事、幹事の二五名の役員で構成し運営している。事業は次の通り。

○役員会（年五回）

事業見直し検討委員会（随時開催）
事務局会（年十五回程度）

○総会・退職会員のつどい（六月）

総会後の『会員のつどい』ではクラブ発表、全員合唱、講演会、懇親会を実施

○バスの旅（日帰り）と泊二日の二回

○自然観察会（春と秋の二回）

講師による松江周辺と大山周辺を散策

○囲碁大会（九月、階級別に実施）

○人間ドック補助事業

（県補助対象者を除く）



一泊二日バスの旅：一乗谷朝倉遺跡（福井）
平成29年11月16日～17日

○冬の三瓶を楽しむつどい（二月）

本年度からは廃止

○連絡員のつどい（十一月）

情報交換と交流会（連絡員数は現在一四七名）

○地区会だより（年四回）

○クラブ活動（十三クラブ）

それぞれ担当幹事による計画実施（延べ二四五名（重複者有り）が活動中）



古典園芸植物「撫子」(ナデシコ)

退職互助松江地区会 杉谷 肇

大雪溪と高山植物の宝庫『白馬三山』 (白馬岳2932m・杓子岳2812m・鐘ヶ岳2903m)

昨年、平均年齢70を超えた山仲間と、花に合わせての7月末山行。
 キヌガサソウ・サンカヨウに迎えられての、「白馬尻小屋」(1560m)泊。5時起床、アイゼン装着、標高差600m・2km超えの日本3大雪溪の一つ「白馬大雪溪」を登りきると、そこは、「葱平」。ここから山頂に向けて、クロユリ・コマクサ・シラネアオイとさまざまな花が咲き誇っていました。日本最大2400人収容の、白馬小屋レストランでビール痛飲。三日目の宿は、露天風呂では日本最高地の「白馬鍾温泉小屋」(2100m)。帰途雨のため、雪溪での絶え間ない落石にも遭遇……大雪溪と花々と温泉を満喫した三泊四日。



キヌガサソウ



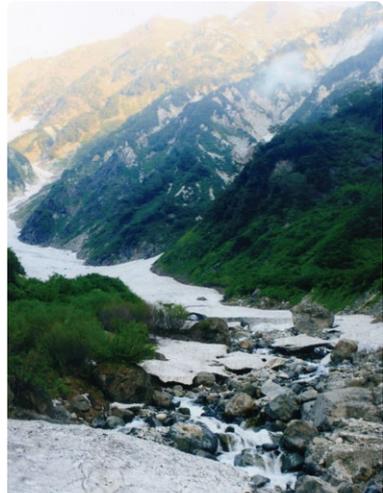
クロユリ



コマクサ



お花畑



白馬大雪溪



日本の若者が活躍の、今冬の「ピョンチャン」オリンピック、女子アイスホッケーに「スマイルジャパン」も出場。日本代表野球男子は「侍ジャパン」女子は「マドンナジャパン」等々の愛称をつけています。愛称命名の先駆けは、女子サッカーの「ナデシコジャパン」では？

そのナデシコ、古くから日本人に愛され「万葉集」「枕草子」「源氏物語」にも登場、江戸時代には空前の園芸ブームの中で数多くの品種が創出されたとのこと。中でも珍重されたのが「伊勢ナデシコ」。

昨年、インターネットでの購入を試みるも品切れ、教え子の園芸店店長に依頼し、取り寄せ。江戸時代に日本の「カワラナデシコ」と中国の「セキチク」を交配し作出の、幽玄な容姿を見せてくれました。

2015年夏、北方の高山植物を訪ね、礼文島を巡り・利尻山(1721m)登頂。その折、ユーラシア大陸北部・北海道・中部以北の高山帯に分布の「タカネナデシコ」の種子を入手。栽培。松江農高で購入の小鉢用「なないろ小町」と共に紹介します。

ちなみに、母の日に主役の「カーネーション」もナデシコ科ナデシコ属で、17世紀イギリス・オランダで改良、300種以上の品種が見られ、日本には徳川家光の時代にオランダから伝来とのこと。



伊勢ナデシコ



タカネナデシコ



なないろ小町

事務局だより

島根県西部地震により被災された方へ

四月九日に発生した島根県西部を震源とする地震により被災された会員の皆さま方には、心からお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興をお祈り申し上げます。

人間ドック補助事業への申込み状況について

人間ドック補助事業は平成二十一年度から実施しています。当初一五〇人の予算で始めましたが、会員の皆様からのご要望が多く、年々予算の増額を計っております。今年度は教互の会員を対象に三五〇人分(五二五万円)、また県互二の会員を対象に、四〇人分(六〇万円)の予算措置を講じました。

しかしながら、教互にあつては、五七二人もの方からの申込みがありました。今後の辞退される方の数を見込んで、残念ながらすべての方の希望には沿えない結果となりました。ご了承ください。

五月中に補助対象者の決定通知をお送りしましたが、ドック受診後は請求手続きを忘れずをお願いします。また、補助対象者の方で都合により受診できなくなった場合は、速やかに事務局までご連絡ください。補助対象にならなかった方を補充決定できる場合がありますのでよろしく願います。

なお、今年度新たに加入された方には、案内通知を個別にお届けしましたが、二年目以降は、「退職互助だより」のご案内となりますので、くれぐれもお見逃しのないようお願いいたします。



謹んでご冥福をお祈りいたします

岩田由美子 様 (松江市) 29. 3.10 (97歳)	朝田 妙子 様 (浜田市) 30. 4. 1 (90歳)	荒本 恵宗 様 (大田市) 30. 5. 6 (91歳)
増野千鶴子 様 (益田市) 29. 4.19 (91歳)	谷口 安弘 様 (松江市) 30. 4. 7 (91歳)	後藤 綾子 様 (斐川町) 30. 5. 7 (95歳)
竹矢 桂子 様 (安来市) 29. 7.17 (89歳)	土江 嘉久 様 (松江市) 30. 4. 7 (92歳)	安部 孝文 様 (飯南町) 30. 5.17 (83歳)
三上 能子 様 (邑南町) 29. 8. 6 (85歳)	日野 フジエ 様 (邑南町) 30. 4. 8 (94歳)	若槻 あや 様 (奥出雲町) 30. 5.21 (91歳)
練田 益巳 様 (奥出雲町) 29. 8.19 (87歳)	寺戸 剛 様 (益田市) 30. 4.11 (87歳)	竹矢 一磨 様 (安来市) 30. 5.23 (92歳)
平木 和子 様 (隠岐の島町) 30. 1. 5 (90歳)	山本二三枝 様 (津和野町) 30. 4.13 (87歳)	上谷 慎二 様 (松江市) 30. 5.31 (85歳)
水津 好實 様 (益田市) 30. 1. 9 (86歳)	安部 晴江 様 (松江市) 30. 4.14 (95歳)	京 幸枝 様 (松江市) 30. 6. 8 (96歳)
山田 幸子 様 (江津市) 30. 1.13 (85歳)	渡部 智 様 (出雲市) 30. 4.17 (84歳)	岸 隆太郎 様 (出雲市) 30. 6.16 (88歳)
岡本 正志 様 (海士町) 30. 2.23 (93歳)	岩間 弘昭 様 (雲南市) 30. 4.18 (80歳)	今岡 義治 様 (松江市) 30. 6.17 (82歳)
室北 俊弘 様 (江津市) 30. 2.24 (86歳)	天野 賀子 様 (松江市) 30. 4.20 (94歳)	野上 久美 様 (浜田市) 30. 6.22 (93歳)
西原 正男 様 (雲南市) 30. 3.25 (84歳)	野々村文恵 様 (雲南市) 30. 4.20 (90歳)	伊藤 保夫 様 (出雲市) 30. 6.23 (93歳)
中尾 洋介 様 (益田市) 30. 3.26 (80歳)	渡部 昭久 様 (松江市) 30. 4.24 (89歳)	品川 幸 様 (金沢市) 30. 6.24 (87歳)
北條 實 様 (松江市) 30. 3.27 (86歳)	中島 玉枝 様 (大田市) 30. 4.28 (91歳)	
白石 政登 様 (大田市) 30. 3.31 (90歳)	中谷 健祐 様 (益田市) 30. 5. 3 (95歳)	

本欄は、異動届が提出された方で、了承された方のみ掲載しています。



「鹿の子の 人を見ならふ 木陰かな」
小林一茶

今年も猛暑と聞きます。涼しく過ごす知恵を働かせていきたいですね。

「夏の風物詩は？」の問いに、ある調査では断然一位が花火大会でした。以前の風鈴・打ち水・簾は影を潜め、懐かしい存在になりつつあるようです。

さて松江地区会からのご寄稿です。様々な人と関わりながら、自分自身も充実感を持ち、周囲の人々を巻き込みながら、社会に貢献する日々を送っていらっしゃいます。これこそが、若さを保つ秘訣でしょう。現職の時に比べると、多少時間に余裕ができています。現在の、これからの過ごし方に大きな示唆をいただきました。沢山の会員数を抱える地区会活動にも工夫が見られます。毎号そう思います。地区会の方々の玉稿には、勇気をいただきます。

表紙の「群鹿之図」の凜と立つ鹿の姿は美しく、涼しささえ感じます。本物の絵画を、静かにゆっくり鑑賞したり、庭先で撫子の花弁を観察したりするひとはいかがでしょう。

今年度も三分の一が終わりました。県からは、文化講演会等の様々なお知らせを掲載しております。もう一度ご覧ください。

最近、地震が頻発しています。自然が変わりつつあるのでしょうか。
県西部地震の被災者の方々が、早く落ち着いた暮らしになりますようにと願います。

きらめく太陽の下、明るく夏を乗り切りましょう。

(岡)